

意見発見と思考記録に着目した電子掲示板閲覧支援システム

溝口 貢味子

インターネットの普及により、議論や学習といった活動に電子掲示板が利用されるようになった。しかし電子掲示板上で議論を行うには、多くの発言の中から有用な意見を見つけることが難しい、発見した記事の内容やそれを見て考えたことを記録できないなどの問題点がある。そこで本研究では、電子掲示板上の意見発見を容易にし発見した記事と自分の思考を即時に記録できることを目指した電子掲示板閲覧支援システムを構築した。

本システムでは、ユーザが作成する議題を用いて電子掲示板閲覧支援を行う。意見発見を容易にするための機能として、議題の情報によるスレッド・記事推薦、記事同士の返信関係表示、既読記事表示を実装した。また思考記録のために、記事とユーザのメモを議題ごとに記録する議題関連記事リスト作成機能を実装した。

本システムの有効性を検証するため評価実験を行った。被験者は、実験の対象とした電子掲示板上の議論に興味のある学生8名である。2種類の意見収集の課題を与え、制限時間内なるべく多くの種類の、課題に沿った意見や根拠の書かれた記事を収集してもらった。さらに、課題を終えた後にシステムのユーザビリティについてのアンケートを実施した。

実験の結果、システムを利用することで記事の収集効率が向上し、議題関連記事リスト作成機能などの容易に記事を収集する機能の有効性が示された。またユーザビリティについてのアンケートでは、「好感度」、「役立ち感」に関する項目が高く評価されており、自由記述では「システムの良かった点」として、議題関連記事リスト上のメモ機能をはじめとするシステムの各機能について好意的な評価が得られた。しかし、収集した記事に含まれる意見、根拠の数や種類は十分ではなく、有用な意見を発見するという点では課題が残った。アンケートの結果から、その原因は操作が分かりにくいこと、記事本文が読みづらいこと、大規模なスレッドを閲覧している時のシステムの反応が悪いことであることが示された。

本研究により、意見発見と思考記録に着目した電子掲示板閲覧支援システムを実現し、提案した機能の有効性と応用可能性についての知見を得た。今後の課題は、より効率よく掲示板を閲覧するためのユーザビリティの改善である。

(指導教員 松村敦)